

生涯学習センター 障がい者青年学級ボランティアスタッフ募集

生涯学習センターは、障がいのある方を対象に、「障がい者青年学級」を開設しています。この事業は、学級生(障がい者)が、音楽・スポーツ・演劇・図画工作といった創作活動を通じて、「生きる力・働く力」の獲得をめざすことを目的とした、集団での学習活動です。

生涯学習センターでは随時、学級生の学習活動を支援していただけるボランティアスタッフを募集しています。学級生たちと一緒に創作活動をしたり、食事や外出の際のサポートをしていただけます。

詳しくは「障がい者青年学級」スタッフ募集ページをご覧ください。

- 対象** どなたでも
日時(原則) 公民館学級 第1第3日曜日 午前9時30分～午後5時
ひかり学級 第1第3日曜日 午前9時30分～午後5時
土曜学級 第2第4土曜日 午前9時30分～午後5時
会場 生涯学習センター(町田市原町田6-8-1 町田センタービル内)
ひかり療育園(町田市忠生3-8-1)
その他 有償ボランティアとなり謝礼があります。(要件あり)
申込・問合せ 見学やご相談は、生涯学習センター青年学級担当
(電話:042-728-0071)までご連絡ください。



2022年度 第22回 日本語学習支援ボランティア基礎講座 受講生募集

町田地域には、多くの外国の方が生活しています。こうした人たちが生活する上で、必要な日本語を学ぶお手伝いをしてみませんか。この講座では、日本語学習支援をするために必要なことを学びます。講座終了後、町田市内の日本語支援団体でボランティアとして支援する方を望みます。

- 期間** 2022年9月22日(木)～11月17日(木)
11月3日の祝日を除く計8回
時間 18:00～20:00 但し、9月22日(木) 17:30～20:00
11月17日(木) 18:00～20:00 対面授業となります。
会場 町田市民フォーラム4階 町田国際交流センターおよび各自でオンライン環境を設置できるところ
受講内容 「地域日本語教室」「日本語の基礎知識」「生活日本語の支援」など。講座の日程が入れ替わることがあります。
定員 24名(応募者多数の場合は抽選をします。)
受講料 会員 15,000円 非会員 17,000円
申込方法 ①氏名(ふりがな)、②住所、③電話番号、④メールアドレス、⑤受講希望理由を明記の上、メール (info@machida-kokusai.jp) FAX (042-722-5330) HP (https://www.machida-kokusai.jp) 又は町田国際交流センター事務局へ直接お申込みください。
申込期限 8月20日(土) 必着 **決定通知** 8月下旬

来て見て やって見よう! 町田国際交流センターの活動を知るオリエンテーション

町田国際交流センターでは、一年を通して日本語教室、外国語サークル、外国人相談、講演会や様々なイベントを行っています。どのような活動を行っているのか、各活動を担っているボランティアが紹介します。ぜひ、ご参加ください。

- 日時** 2022年8月28日(日) 10:00～16:00
会場 町田市民フォーラム4階 町田国際交流センター
内容 町田国際交流センターの活動紹介
各ボランティア部会の紹介
対象 高校生以上の方
お申込み 不要です。直接会場にお越しください。
お問合せ (一財)町田市文化・国際交流財団町田国際交流センター
TEL 042-722-4260
E-mail: info@machida-kokusai.jp



町田国際交流センターの前身である町田国際協会が1998年7月に設立され、その事業の一環として1998年12月からスタートした外国語サークルは、2020年2月までの22年間毎年継続して実施してまいりました。しかし、2020年2月から東京及び日本全国を襲ったコロナ禍のため、残念ながら2020年度及び2021年度の2年間は休止を余儀なくされました。

いまだ東京のコロナ新規感染者数は3千人前後/日(2022年5月後半の数字)で推移し大幅な減少傾向はみられませんが、コロナ感染対策を十分施した上で、2022年5月から、外国語サークルを2年ぶりに再開し現在活動中です。

外国語サークルは語学学習を通じて異文化理解と国際交流への貢献を目指して、英語・中国語・韓国語・タイ語・スペイン語の5言語 8サークル、来年の1月まで全16回実施する予定で、現在延べ158名の方が受講中です。各サークルは語学学習以外にその言語の文化や生活習慣、社会、歴史の話などを聴くことにより日本との違いを学習し、異文化理解を深める場となることを目指しています。

ただし、異文化理解の一環で毎回好評である料理教室は、マスクをはずしての会食となるため、今年度は中止といたしました。来年度に期待したいものです。

また、以前のように東京都にまん延防止等重点措置や緊急事態宣言が発出される場合は、延期または中止としますので、発出されず対面授業が継続できることを切に希望します。

なお、少し定員に満たないサークルもありますので、そのサークルを自由にいつでも覗いてみてください。大歓迎です!

(外国語部会 佐藤 佳則)



英語中級サークルの様子



韓国語入門サークルの様子



タイ語入門サークルの様子

ぼろんていえ Volontiers! の由来: 誘われたとき、頼まれたとき「喜んで!」と笑顔で応えるフランス語

町田国際交流センターではボランティアを中心に、日本にいる外国の方を支援したり、コミュニケーションの活性化をはかるなど、様々な活動を行っています。

国際交流事業やボランティアのお問い合わせは、町田国際交流センターまで

〒194-0013 東京都町田市原町田4-9-8 町田市民フォーラム4F
TEL 042(722)4260 FAX 042(722)5330
https://www.machida-kokusai.jp
E-mail: info@machida-kokusai.jp



日本語教室が対面で再スタート！2つのクラスに取材

コロナ禍で休止していた対面での日本語教室8クラスが5月からおよそ2年ぶりに再開されました。火曜日午前クラスは支援者7名、学習者6名で、金曜日午後クラスは支援者6名で学習者5名を迎えスタートしました。どちらのクラスも、新型コロナウイルスの影響で半分以上の支援者の方が退会や休会されました。

久しぶりに学習者と対面で日本語支援を行ったボランティアの方々に感想を伺いました。



- これから学習者がどんどん増えていくことを期待しています。
- 消毒やソーシャル・ディスタンスなど、できることはしっかり対策しているので安心して皆さんに参加してほしいですね。
- コロナ禍で休止中は家でのおんぼり庭仕事やたまってた本を読んでいた。
- 日本語支援を忘れるのではないかとちょっと心配でした。
- 久しぶりの学習支援で方法を忘れていたかと思いましたが、始めてみるとすぐに思い出せるものですね。楽しく支援できました。
- オンラインで支援していましたが、やはり対面は楽しいですね。

(広報部会 岡村 真理)



国際交流部会『おしゃべりくらぶ』がスタート

「おしゃべりくらぶ」は2022年2月に発足しました。市内外の外国人住民と、新たに交流できる方法を模索した結果です。対面とオンラインの両方で、やさしい日本語や他言語で楽しくお友達の輪を広げることが目的です。3月1日、初めて台湾女性とオンライン交流をZOOMで開始し、部会員2名が対応しました。5月28日には中国人留学生と4人の部会員とで、センター内にて初回対面会を実施しました。いずれも話題は、部会活動の紹介、自己紹介、家族や友人、日本に来た経緯、将来の夢等々。ホームページに募集記事を掲載中です。

(国際交流部会 高瀬 博子)



外国の音楽とお話と

3月21日、生涯学習センターとの共催で「外国の音楽とお話と」が開催されました。市民の方々に外国の文化や外国の方の考えを学び理解を深めていただくためです。

第1部は丸田菜穂さんのアングルンと木村奏子さんによるマリンバの演奏を楽しみました。アングルンは竹でできたインドネシアの民族楽器です。マリンバはアフリカにルーツをもつ楽器です。町田市はインドネシアと南アフリカのホストタウンとなっています。お二人の素晴らしい演奏の合間には、参加者一人一人がアングルンの一音を手に初めてのアングルン演奏を経験しました。全員での合奏は素晴らしいものでした。

第2部は外国の方の話聞くパネルディスカッションが行われ、日頃感じていることや将来の夢を聞きました。フィリピンの鎌田ゼナイダさんは日本と自国の違いや驚きを、ベトナムのグエンティイエンニーさんはベトナムの紹介をしながら日本との違いを話してくれました。中国の張博偉さんは中国の紹介のあと、将来は日本で経験したことを中国に伝え「日本と中国の架け橋」になりたいと夢を語ってくれました。ネパールのマハルジャン ゴビンダさんはネパールと日本の違いを日本にきてからの驚きとともに話してくれました。その後、参加者の方々とディスカッションも行われ、小さな交流ができたようです。

最後に司会者から今後も外国の方々と多文化共生のためには受け手である日本人も努力をしていく必要があるとまとめられました。

(国際理解・協力部会 荒明 美奈子)



アングルンとマリンバの演奏



みんなで合奏



パネルディスカッション

町田市表彰

本年度の表彰式が5月8日、町田市文化交流センターで行われ、関根信二氏、荒明美奈子氏が社会奉仕功労賞を受賞されました。

編集後記

そろそろ梅雨明けを迎え、今年の夏どう過ごそうかと、季節を楽しむ時期がやってきました。人々はオミクロン株の流行や対策にも慣れ、今年の夏こそ、今までできなかった行動を起こそうと、それぞれの立場で企画を立てているようです。

5月から再開した語学サークルにも、メンバーが戻ってきたようで、一部のサークルは満席の様子。それぞれの席がアクリルボードで仕切られての授業(活動)風景。私もスペイン語のサークルに参加しました。日本では聞きなれない会話ですが、世界でも多くの国で公用語として使われています。習いおぼえた言葉を使い、多くの外国籍の方々と、多様なコミュニケーションができることをめざして、がんばっていきましょう。